

秋川障子岩 新ルート&ボルダー

平成31年2月6日 RCT/K

昨年は実家で過ごすことが多く、実家から短時間で行って利用できるボルダーで遊ぶことが殆どだったため、リードクライミングが疎かになっていた。当然、リード感覚は衰え、持久力も極端に落ちてしまった状態で冬のシーズンを迎えてしまった。11月中旬ごろに自宅に戻り、その後以前に比べ大分時間もとれるようになったことから、トレーニングを兼ねて、何時行っても空いていてマイペースで登れる障子岩に何回か通ってみた。

久しぶりに訪れてみると、状態は思ったより良く、殆どのラインは乾いており、下地やフィックスの整備、そしてチョーク跡の状況から、少ないながらクライマーが訪れている雰囲気を感じられた。

しかしながら、雑草やブッシュ、苔が蔓延り、倒木や夏の台風で荒れ気味のところも多く、何時ものことながら、登りながら少しずつ整備するというのが毎回のルーチンとなっていた。

その様な中で、新ルートの可能性が見えてきたため、掃除をしてみると、意外と面白そうなのでルートを何本か設定してみた。その後、今年1月に入り、長期の旅行や実家への帰省などで暫くクライミングに集中できず間が空いてしまった。2月に入ってから、降雪などで状態が芳しくなかったが、取り敢えず設定ラインは全てクリアできたので、ここに簡単に紹介したい。易しいルートではあるが訪れた時の参考にしていただければと思う。

またさらに、アプローチ途中の屋根型をしたボルダーを簡単に泥と苔を払って掃除をしてみると、思った以上に面白そうな課題ができそうだったので、きれいにして4本程課題を設定したので併せて紹介したい。

《新ルート紹介》

●障子岩南西面 多摩自慢のフェイス周辺(赤細ラインは既成ライン)

左:「多摩自慢」のフェイス

右:「クラックもどき」右のカンテ

- ①パンダ・ハガー(左:5.9 カンテに出て直上 右:5.8 3・4本目間はカンテ右のフェイス)

右のコーナーに入らず、カンテ沿いに登る。ボルトは左右共用。途中右に、セメントで固めた大きな浮石がある。グレード甘目。

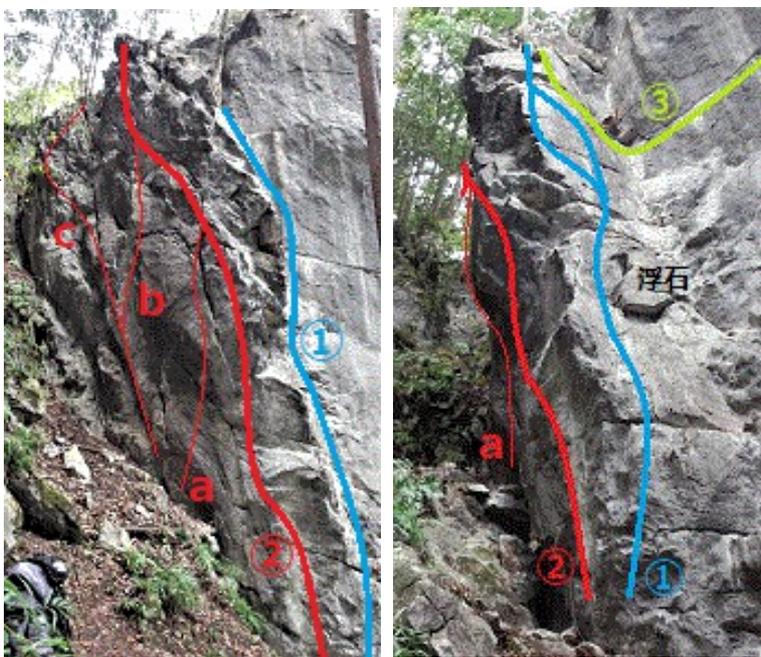
- ②デッド・コピー(5.11a)

「クラックもどき」を右下から登って行くラインで、2本ボルトを追加。1本目は左の土手からクリップ。ボルト共用で、クラックの右を登り、「もどき」の2本目付近で合流する。

- ③ドラゴン・スレイヤー(5.11b)

ライン取りは、クラックに入るために一番素直と思われる「デルパワー X」を登り、最後のボルトから上に上らず左にトラヴァース。スリングのかかったボルトから、左の小コルネを登って「フィフティ・ストーム」のレストポイントに上がる。そこから「踊る蒺藜」の下を水平に走るクラックを辿って、最後は凹角からフェイスを少し登り、「パンダ・ハガー」の終了点に入る。回収はトップロープ状態で「デルパワー X」のスタートから登って回収。

クラック部分のプロテクションはキャメロットの#1から#3位まで2セットあれば十分であるが、



最後の凹角の切株にタイオフするスリングがあると安心できる。

昔、「ロリータ桃子」の開拓時にクラックの左半分は登られているので、このラインのオリジナル部分は「デルパワー X」の最後のボルトから「踊る蒟蒻」のビレイポイントまでであり、新ルートというよりリンクルートに近いと言える。

なお、「フィフティ・ストーム」との合流点のガバホールドが浮石だったので、クラック部分が広がらないようセメントで埋めて固めた。たぶん大丈夫だと思う。

- a. クラックもどき(5.11a)
- b. 多摩自慢(5.10)
- c. 味自慢(5.10d)

●襖岩左壁(青細ラインは既成ラインと不明ライン)

④メタタグ新聞(5.10a)

上部は左に出て休まない。終了点はaラインと共用。

a. 男子禁制(5.10d)

最後はステミングで凹角を上がる。

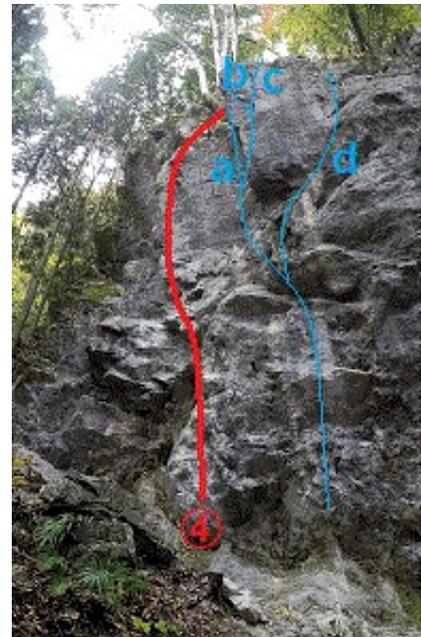
b. 男子禁制 Var.(5.11a)

右のカンテ側から登るライン。最後のプロテクションは新たに打たれたカンテ側のボルトを使用した方が落ちた時には安全。

c. bラインを右上に抜けるライン

初登者、ルート名、グレード、終了点不明。

d. 大御所(5.11b)



上: 襖岩左壁

●南東壁下部フェイス(細ラインは既成ライン)

下: 南壁&と南東壁下部

⑤サイレント・インベージョン右(5.7)

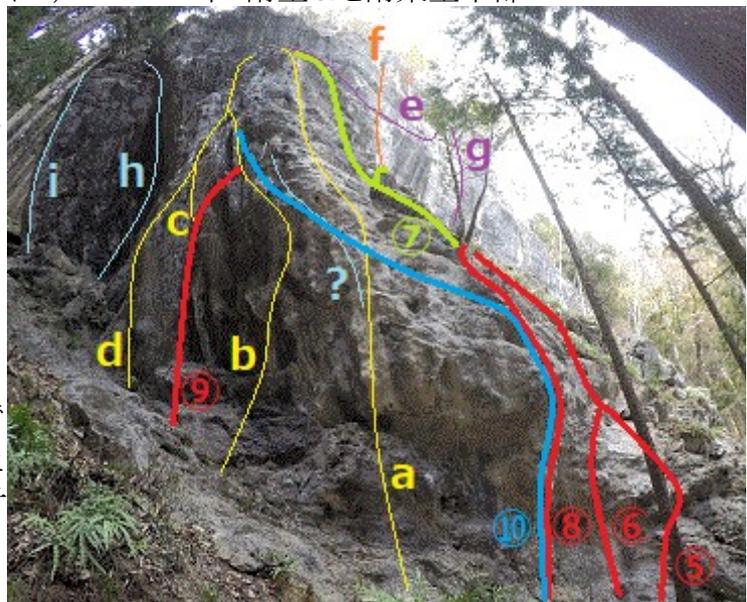
マルチピッチ練習用に作ったルートの右スタート。右のレッグから回り込む。

⑥サイレント・インベージョン左(5.8)

左スタート。⑤のレッグには上がらない1本目はプリクリップまたは⑤を登って掛ける。

⑦サイレント・インベージョン2P目(5.7)

マルチピッチ練習用に、1P目の終了点の木から、「TNT」の旧終了点までを繋ぐラインを設定した。一段上がった所から右に分かれて「熱中症」の取り付けのバンドに上がることもできる。中段から上段まで繋げれば、4Pのマルチピッチラインが採れる。



⑧マジック・ウェポン(5.10c/d)

「いとしのエリカ」右の被ったボルダー的なショートルート。右から回り込まず、直上する。

⑨ニトロ左(5.11a)

以前、「ニトロ」の左に「グリセリン」という「TNT」の3本目に合流するラインがあったが、ラインが込み合っていること、「TNT」を登る際に足を置く辺りにボルトがあることなどからハンガーを外した。今回、ムーヴ的にはそこそこ面白いので、以前登っているラインだが、「グリセリン」の下部を登り、「ニトロ」の2本目に合流するラインを「ニトロ左」としてラインを入れてみた。ボルトは

「ニトロ」と共用。

⑩永遠の旅人(5.11c/d)

⑧から入り、1本目のボルト上から壁の中央をトラヴァース気味に左上し「ニトロ」の3本目に合流(ムーヴはガバで合流)する。2本目の微妙なクリップを終えたら、2本目左下の穴を取って左に移っていく。ムーヴはさほど難しくはないが、全体的にはストレニユアス。不明ライン(?)の2本目のボルトと残置スリングを使用する。終了点は「TNT」の旧終了点を使用すると、ヌンチャクの回収がしやすい。

a. いとしのエリカ(5.10c)

上部は掃除不足で粉粉。

「ニトロ」と「いとしのエリカ」の間に新ライン(限定?)あり。初登者、ルート名、グレード、ライン取り、終了点不明。

b. ニトロ(5.11b)

1本目のボルトの右側から登る。

c. 旧グリセリン

以前ハンガーを外したため、現在リードルートとしてのラインはなし。

d. TNT(5.10a)

トボに★はないが、壁の弱点をついた、なかなか面白いライン。

e. トウ・サザン(5.9)

特に面白味はないが、マルチピッチ練習用としては有用なライン。

f. 熱中症(5.9)

ボルトの左右からスタートできる。

g. アドレナリン・ジャンキー(5.12b)

h. パワー&ストレッチ(5.11b)

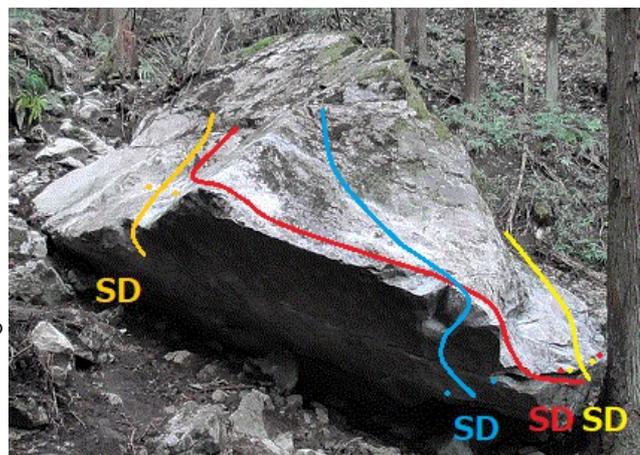
i. ラップ(5.11d)

●社岩ボルダー(やしろいわ)

障子岩周辺では、以前2個ほどのボルダーを紹介したが、今回トライしたのは、以前、アプローチボルダーとして紹介した岩の少し下にあるボルダーである。傍に御神木のような太い杉の木があるので「社岩」と命名した。

特にこのボルダーだけ目的に行くこともないが、高さがなく、クラッシュパッドは必要ないので、障子岩の帰りなどに遊べるのが売りである。

課題は4本あり、全てSD課題でヒールフックを多用する。



・赤ライン(課題名:ジレジョース)

リップの一番右からスタートし、最後は庇のトップを左から回り込むようにして上に抜ける。

・青ライン(課題名:カッサール)

一手目は左手アンダー、二手目は右手甘いホールドからリップにデッドする。

・黄色ライン

すぐ右に杉の木があるので、意外と登り難い。

・オレンジライン

両手カチスタートで右足を上げハング上に乗り込む。